

## 個体数調整実施状況

### 1. 平成 20 年度個体数調整実施状況

平成 20 年度はこれまで、装薬銃による捕獲を 2 回、麻醉銃・アルパインキャプチャーによる捕獲を 5 回行った。また、くくりわなによる試験を行った。

表 1 装薬銃及び麻醉銃等による個体数調整実施状況

捕獲回	捕獲期間	方法	捕獲頭数
第一回	平成 20 年 4 月 19 日 ～平成 20 年 4 月 20 日 (2 日間)	装薬銃	8 頭 (オス 3、メス 5 頭)
第二回	平成 20 年 7 月 5 日 ～平成 20 年 7 月 8 日 (4 日間)	麻醉銃 アルパインキャプチャー	2 頭 (メス 2 頭)
第三回	平成 20 年 8 月 4 日 ～平成 20 年 8 月 13 日 (10 日間)	麻醉銃 アルパインキャプチャー	5 頭 (オス 3 頭、メス 2 頭)
第四回	平成 20 年 8 月 25 日 ～平成 20 年 8 月 29 日 (5 日間)	麻醉銃 アルパインキャプチャー	1 頭 (オス 1 頭)
第五回	平成 20 年 9 月 25 日 ～平成 20 年 10 月 3 日 (9 日間)	麻醉銃 アルパインキャプチャー	1 頭 (オス 1 頭)
第六回	平成 20 年 10 月 22 日 ～平成 20 年 10 月 28 日 (7 日間)	麻醉銃 アルパインキャプチャー	1 頭 (メス 1 頭)
第七回	平成 20 年 12 月 2 日 ～平成 20 年 12 月 4 日 (3 日間)	装薬銃	11 頭 (オス 4 頭、メス 7 頭)
計	40 日間		29 頭 (オス 12 頭、メス 17 頭)

表 2 くくりわなによる捕獲試験実施状況

捕獲回	捕獲期間	方法	捕獲頭数
第一回	平成 20 年 10 月 22 日 ～平成 20 年 10 月 28 日 (7 日間)	くくりわな (実際の捕獲を行わない 試験)	
第二回	平成 20 年 12 月 1 日 ～平成 20 年 12 月 10 日 (10 日間)	くくりわな (実際の捕獲を行う試験)	15 頭 (オス 6 頭、メス 9 頭)
計	17 日間		15 頭 (オス 6 頭、メス 9 頭)

## 2. 捕獲頭数

- 平成 20 年度の捕獲頭数は、くくりわなによる捕獲試験によるものを含め、平成 20 年 12 月 19 日現在、オス 18 頭、メス 26 頭、計 44 頭である。内訳は表 3 に示す。
- メスを中心に捕獲することを目標としているが、オスの比率がやや高いのは、外見の性の判別が難しい幼獣を捕獲したためと、非選択的な捕獲となるアルパインキャプチャーでの捕獲によるところが大きい(表 4～5)。
- 麻醉銃による捕獲頭数及び捕獲効率が大幅に低くなっている。目撃は正木峠～テラス下で多いものの、麻醉銃に対する警戒心が強く、射程まで近づくことが非常に困難であった。
- 平成 20 年度の捕獲効率は、麻醉銃で 0.09、アルパインキャプチャーで 0.20、装薬銃 0.43 (頭/丁) となり、装薬銃の捕獲効率が最も高い結果となった。(表 8)。

表 3 平成 20 年度ニホンジカ捕獲状況 (単位: 頭)

捕獲回	成獣オス	成獣メス	幼獣オス	幼獣メス	計
第一回※1	1	5	2	0	8
第二回	0	2	0	0	2
第三回	3	2	0	0	5
第四回	1	0	0	0	1
第五回	1	0	0	0	1
第六回	0	1	0	0	1
第七回※1	3	6	1	1	11
くくりわな試験	5	7	1	2	15
計	14	23	4	3	44

※1: 装薬銃を使用

表 4 平成 20 年度ニホンジカの捕獲方法別捕獲状況 (単位: 頭)

捕獲回	麻醉銃				アルパイン キャプチャー				装薬銃				くくりわな			
	成 獣 オ ス	成 獣 メ ス	幼 獣 オ ス	幼 獣 メ ス	成 獣 オ ス	成 獣 メ ス	幼 獣 オ ス	幼 獣 メ ス	成 獣 オ ス	成 獣 メ ス	幼 獣 オ ス	幼 獣 メ ス	成 獣 オ ス	成 獣 メ ス	幼 獣 オ ス	幼 獣 メ ス
第一回	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5	2	0	—	—	—	—
第二回	0	0	0	0	0	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
第三回	0	2	0	0	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
第四回	0	0	0	0	1	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
第五回	0	0	0	0	1	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
第六回	0	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
第七回 (装薬銃)	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6	1	1	—	—	—	—
くくりわな 試験	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	7	1	2
計	0	3	0	0	5	2	0	0	4	11	3	1	5	7	1	2

表 5 平成 20 年度 4 月装薬銃によるニホンジカの捕獲状況 (単位: 頭)

	成獣オス	成獣メス	幼獣オス	計	出動人数 (人)	捕獲効率 (頭/丁)
1 日目	1	1	1	3	11	0.27
2 日目	0	4	1	5	13	0.38
計	1	5	2	8	24	0.33

表 6 平成 20 年 12 月装薬銃によるニホンジカの捕獲状況 (単位: 頭)

	成獣オス	成獣メス	幼獣オス	幼獣メス	計	出動人数 ( ): 丁	捕獲効率 (頭/丁)
1 日目	1	4	0	0	5	8 (7)	0.57
2 日目	2	1	0	0	3	7 (6)	0.33
3 日目	0	1	1	1	3	8 (7)	0.43
計	3	6	1	1	11	23 (20)	0.55

回収不能個体 (メス 2) を含む。

表 7 平成 20 年度ニホンジカ捕獲方法別捕獲効率

捕獲回	麻醉銃 (頭/丁)	アルパインキャプチャー (頭/日)	装薬銃 (頭/丁)
第一回	—	—	0.33
第二回	0.00	0.50	—
第三回	0.20	0.30	—
第四回	0.00	0.20	—
第五回	0.00	0.11	—
第六回	0.14	0.00	—
第七回	—	—	0.55
計	0.09	0.20	0.43

表 8 平成 20 年度ニホンジカ捕獲方法別捕獲頭数および捕獲効率経年変化

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
麻醉銃	18 (0.51)	35 (0.97)	34 (0.53)	21 (0.40)	16 (0.28)	15 (0.74)	3 (0.09)
アルパインキャプチャー	7 (0.20)	10 (0.28)	14 (0.22)	2 (0.04)	9 (0.16)	3 (0.16)	7 (0.20)
Box Trap	-	-	-	2 (0.04)	-	-	-
装薬銃	-	-	-	-	-	15 (0.44)	19 (0.43)
くくりわな試験	-	-	-	-	-	-	15 (0.5)
捕獲頭数合計 (頭)	25	45	48	25	25	33	44

( ) : 捕獲効率

麻醉銃、装薬銃の捕獲効率算出式 捕獲効率 = 捕獲数 / 銃丁数 \* 日

アルパインキャプチャー、BoxTrap の捕獲効率算出式 捕獲効率 = 捕獲数 / わな基数

くくりわなの捕獲効率算出式 捕獲効率 = 捕獲数 / 作業員人数 \* 日

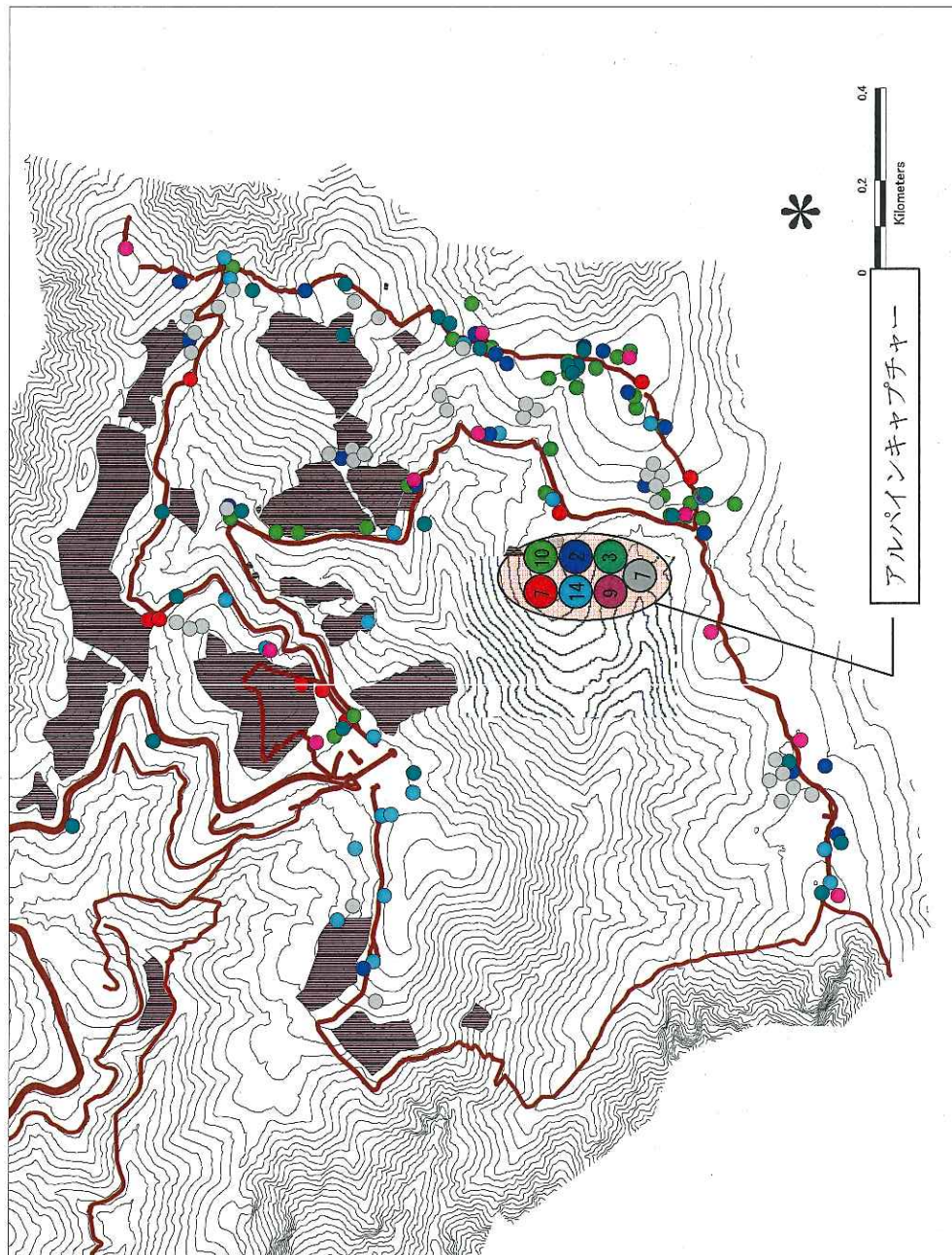


図 1 年度別捕獲位置 (平成 14 年～平成 20 年度)



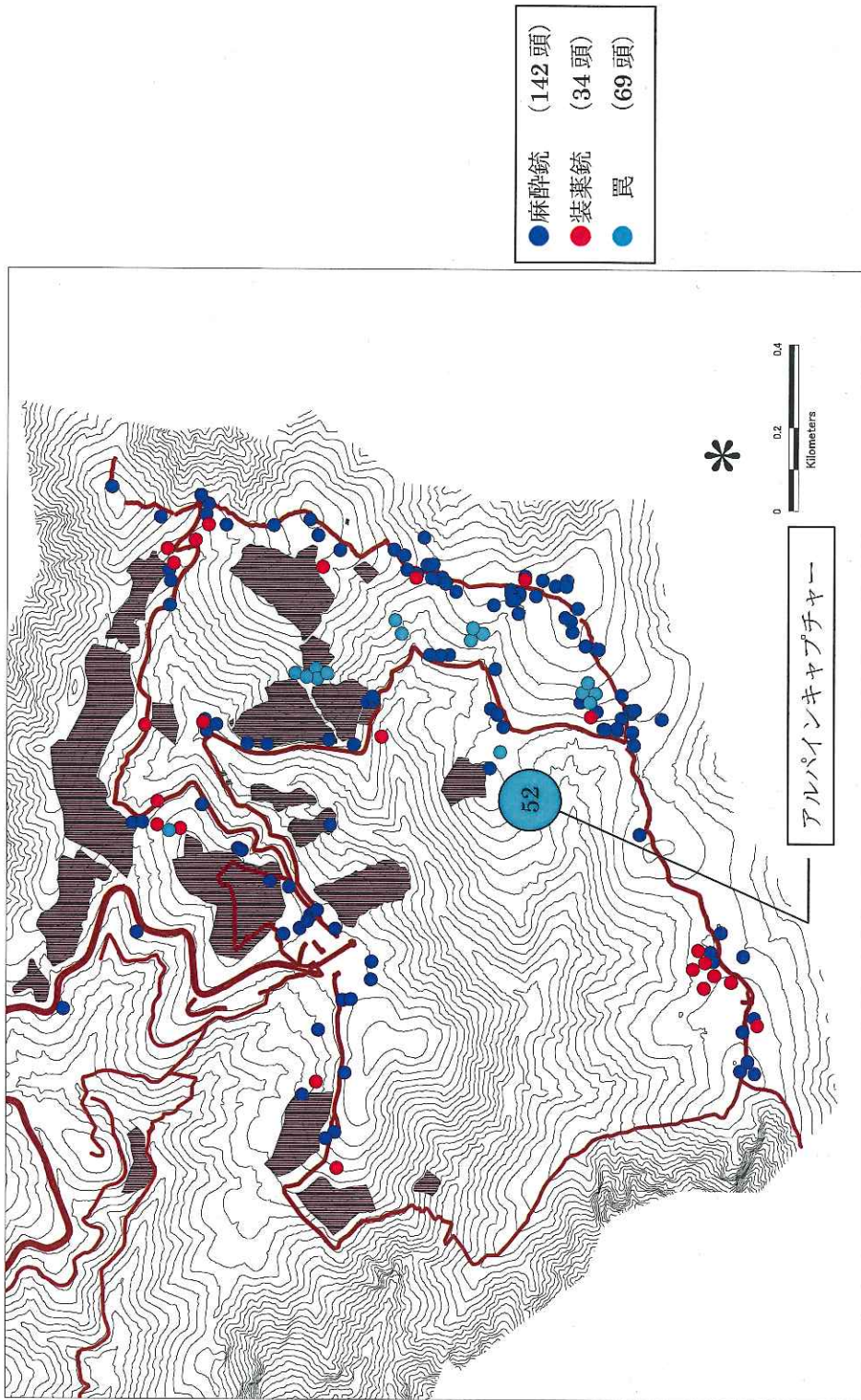


図 2 捕獲方法別捕獲位置 (平成 14 年～平成 20 年度)